

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所

〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先 0282-22-7079(増田)

Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp



216号

2025年7月25日発行

教育の現状と課題、映画を見て語ろう！ 「教育と愛国」上映会

○日時：8月30日(土) 13時30分～15時30分

○場所：栃木市市民交流センター 大交流室

○費用：500円(資料代)



大阪の毎日放送（MBS）ディレクター齊加尚代さんが監督したドキュメンタリー映画です。2017年度ギャラクシー賞大賞を受賞したテレビ番組がもとになった本作品は、歴史教科書の記述や採択をめぐる、教育への「不当な支配」の現状を伝えます。

今、教育の現場がどうなっているかを丹念に追っています。ぜひ見に来てください。

NHK朝ドラ「あんぱん」

＝逆転しない正義!?!＝

今春から放映の朝ドラ「あんぱん」を
ご覧になっていますか。

漫画家・絵本作家・詩人のやなせたか
し(柳瀬嵩の妻、「今田美桜」が演じる「の
ぶ」がヒロインです。

劇中、ヒロイン「のぶ」は、教師となり、
戦時体制が強まっていくなかで筋金入り
の軍国少女となり、「一旦、国家が非常時
となったら男は勇躍戦場へ、女も愛する
祖国のために、全身全霊で尽くすべき」
と、子どもらに教え、愛国の鏡だと称賛
されます。

北村匠海が演じる、「やないたかし」は、
やがて、赤紙が届き中国の戦地へ。戦地は、食べるものが全く
無く、やないたかしは飢餓状態に瀕します。

敗戦後、お国のために命を捧げよと教えていた教科書は、全
て黒塗りに…。愛国の鏡だった「のぶ」は教師を辞め、戦地か
ら帰還した、おさな友達の「たかし」と再会します。

たかしは、「正義ってというのは、立場が逆転するのですよ」「戦
争には真の正義というものはない」、逆転しない正義を見つける
ために生きようとする。

今、台頭している「差別と分断」を煽る排外主義。漫画家や
なせたかしが願う「逆転しない正義」とは、それは一人ひとりが
大切にされる、戦争のない平和な社会ではないだろうか。

大森八重子(記)



- ◆ スタンディング 8月9日(土) 市役所前 8月19日(火) ケイズデンキ前 16時から
- ◆ スタッフ会議 8月6日(水) 会議室Ⅲ 8月25日(月) くらら 13時30分から

沖縄の日の平和の詩

「おばあちゃんの歌」

豊見城市伊良波小学校 6年 城間 一步輝(いぶき)



毎年、ぼくと弟は慰霊の日に
おばあちゃんの家に行って
仏壇に手を合わせウートーをする

一年に一度だけ
おばあちゃんが歌う
「空しゅう警報聞こえてきたら
今はぼくたち小さいから
大人の言うことよく聞いて
あわてないで さわがないで 落ち着いて
入って いきましょう防空壕」

五歳の時に習ったのに
八十年後の今でも覚えている
笑顔で歌っているから
楽しい歌だと思っていた
ぼくは五歳の時に習った歌なんて覚えていない
ビデオの中のぼくはあんなに楽しそうに踊りな
がら歌っているのに

一年に一度だけ
おばあちゃんが歌う
「うんじゅん わんにん
艦砲ぬ くえーぬくさー」

泣きながら歌っているから悲しい歌だと分かっ
ていた
歌った後に
「あの戦の時に死んでおけば良かった」
と言うからぼくも泣きたくなった

沖縄戦の激しい艦砲射撃でケガをして生き残っ
た人のことを
「艦砲射撃の食べ残し」
と言うことを知って悲しくなった

おばあちゃんの家族は
戦争が終わっていることも知らず
防空壕に隠れていた

戦車に乗ったアメリカ兵に「デテコイ」と言われたが
戦車でひき殺されると思い出て行かなかった

手榴弾を壕の中に投げられ
おばあちゃんは左の太ももに大けがをした
うじがわいて何度も皮がはがれるから
アメリカ軍の病院で
けがをしていない右の太ももの皮をはいで
皮ふ移植をして何とか助かった

でも、大きな傷あとが残った
傷のことを誰にも言えず
先生に叱られても
傷が見える体育着に着替えることが出来ず
学生時代は苦しんでいた

五歳のおばあちゃんが防空壕での歌を歌い
「艦砲射撃の食べ残し」と言われても
生きてくれて本当に良かったと思った

おばあちゃんに
生きていてくれて本当にありがとうと伝えると
両手でぼくのほっぺをさわって
「生き延のびたくとぅ ぬちぬ ちるがたん」
生き延びたから 命がつながったんだね
とおばあちゃんが言った

八十年前の戦争で
おばあちゃんは心と体に大きな傷を負った
その傷は何十年経っても消えない

人の命を奪い苦しめる戦争を二度と起こさないように
おばあちゃんから聞いた戦争の話を伝え続けていく
おばあちゃんが繋いでくれた命を大切にして
一生懸命に生きていく

平和を願って歩きました 原水爆禁止、国民平和大行進 7月9日

今年は、戦後80年。「核兵器廃絶」を求めて「原水爆禁止国民平和大行
進」が行われるようになって、68回目になります。平和を守ろうという
強い思いで、各団体の旗を掲げ、思い思いのプラカードを持って行進しました。

